

Commission for the Conservation of
Southern Bluefin Tuna



みなまぐろ保存委員会

委員会特別会合 報告書

2008年8月6日
日本、東京

委員会特別会合報告書

2008年8月6日

日本、東京

議題項目 1. 開会

1. 議長は、参加者を歓迎し、開会を宣言した。
2. 議題は採択され、別添 1 に記載された。
3. 参加者は自己紹介をし、会合参加者のリストは別添 2 に記載された。

議題項目 2. 拡大委員会による決定事項の承認

4. 委員会は、別添 3 の拡大委員会による決定事項を承認した。

議題項目 3. 閉会

5. 会合は、2008年8月6日午後4時45分に閉会した。

別添リスト

別添

- 1 議題
- 2 参加者リスト
- 3 拡大委員会特別会合報告書

議題
委員会特別会合
2008年8月6日
日本、東京

1. 開会
2. 拡大委員会による決定事項の承認
3. 閉会

参加者リスト
委員会特別会合
2008年8月6日
日本、東京

議長

スタン・クロザース 漁業省次官補

オーストラリア

ジョン・カリッシュ 農漁業林業省漁業養殖業担当部長

日本

宮原 正典 水産庁資源管理部審議官

ニュージーランド

アーサー・ホーア 漁業省国際部長

大韓民国

ヤン・ホン・チュン 海洋漁業省国際漁業部長

インドネシア

エミ・ウィジャヤンティ 漁業海洋省 EEZ 開発担当副部長
ブストミ・マーユディン 漁業海洋省企画部長

オブザーバー
漁業主体台湾

シュー・リン・リン 行政院農業委員会漁業署スペシャリスト

CCSBT 事務局

ブライアン・マクドナルド 事務局長

通訳

山影 葉子

拡大委員会特別会合
報告書

2008年8月6日
日本、東京

拡大委員会特別会合報告書

2008年8月6日

日本、東京

議題項目 1. 開会

1. 議長(スタン・クロザース氏)が開会を宣言した。
2. 議題が採択され、別紙 1 に掲載された。
3. 会合参加者のリストが別紙 2 に掲載された。

議題項目 2. 事務局長の選考

4. 拡大委員会は、事務局長選考のため、5名の候補者のインタビューを実施した。ロバート・ケネディ氏を2008年10月31日から3年の任期で指名することに合意した。
5. 委員会は、議長がケネディ氏の職位就任の一環として管理研修プログラムを作成することに合意した。
6. 現事務局長は、CCSBT 職員規則に則った雇用契約を準備し、議長に代わって委員会を代表し署名するよう、要請された。

議題項目 3. パフォーマンス・レビュー

3.1 自己評価報告書

7. 拡大委員会は、パフォーマンス・レビュー作業部会報告書を採択した。拡大委員会は、イングリッド・ジェイミソン及び事務局長の自己評価報告書に関する作業に対し、謝意を示した。
8. 拡大委員会は、特に、作業部会の勧告のうち RFMO 間のより良い協力に関するものがメンバーにとって重要であることに留意した。

3.2 独立レビュアーの選考

9. 拡大委員会は、独立レビュアーのリストについて議論した。デービッド・ボルトン氏に依頼することが合意され、事務局長が別紙 3 に定めた付託事項とともにこの決定を伝達することとなった。レビュアーは、2008年9月5日までに事務局長に対し、報告書を提出することが求められた。

議題項目 4. その他の事項

10. デービッド・ウッド氏を遵守委員会議長として、さらに1年間任期を延長することが、合意された。

議題項目 5. 閉会

11. 会合報告書が採択された。
12. 会合は、2008年8月6日午後4時40分に閉会した。

別紙リスト

別紙

- 1 議題
- 2 参加者リスト

議題
拡大委員会特別会合
2008年8月6日
日本、東京

1. 開会
2. 事務局長の選考
3. パフォーマンス・レビュー
 - 3.1. 自己評価報告書
 - 3.2. 独立レビュアーの選考
4. その他の事項
5. 閉会

参加者リスト
拡大委員会特別会合
2008年8月6日
日本、東京

議長

スタン・クロザース 漁業省次官補

オーストラリア

ジョン・カリッシュ 農漁業林業省漁業養殖業担当部長

日本

宮原 正典 水産庁資源管理部審議官

ニュージーランド

アーサー・ホーア 漁業省国際部長

大韓民国

ヤン・ホン・チュン 海洋漁業省国際漁業部長

漁業主体台湾

シュー・リン・リン 行政院農業委員会漁業署スペシャリスト

インドネシア

エミ・ウィジャヤンティ 漁業海洋省 EEZ 開発担当副部長
ブストミ・マーユディン 漁業海洋省企画部長

CCSBT 事務局

ブライアン・マクドナルド 事務局長

通訳

山影 葉子

CCSBT パフォーマンス・レビュー作業部会独立専門家に対する付託事項

CCSBT は、2007 年日本の神戸における 5 つのまぐろ類 RFMO 合同会合で合意された、*地域漁業管理機関(RFMOs)*に関するパフォーマンス・レビューのための基準案を背景として、CCSBT のパフォーマンスの自己評価を作成した(基準については自己評価報告書に添付した)。

貴殿には次を求める。

- i) CCSBT 自己評価報告書の情報及び追加的な CCSBT に関する情報(即ち、CCSBT ウェブサイト上の CCSBT 報告書へのリンク及び CCSBT 補助機関議長の連絡先)、並びに貴殿の国際的漁業管理枠組及び現在の国際的に最善の習慣に関する貴殿の知見及び理解を活用し、CCSBT 自己評価報告書をレビューすること。
- ii) CCSBT の自己評価に対する貴殿の所見を詳細に綴った報告書を、9 月 5 日までに、事務局長に対し提出すること。
- iii) 貴殿の報告書は、次に焦点をあわせられたい。
 - a. CCSBT の現在の運営水準、及びそれが成果の点から国際的に最善の習慣を満足するものか
 - b. CCSBT の現在の権能、及びそれが国際的に最善の習慣に合致するものか
 - c. 自己評価におけるコメント及び勧告は適当か、及びそれが実施された場合 CCSBT のパフォーマンスの改善に十分であるか
 - d. CCSBT の自己評価におけるコメント、及び勧告の優先順位に関する貴殿の見解
 - e. CCSBT のパフォーマンスの改善に資すると貴殿が考える付加的なコメント又は勧告を提供すること。